

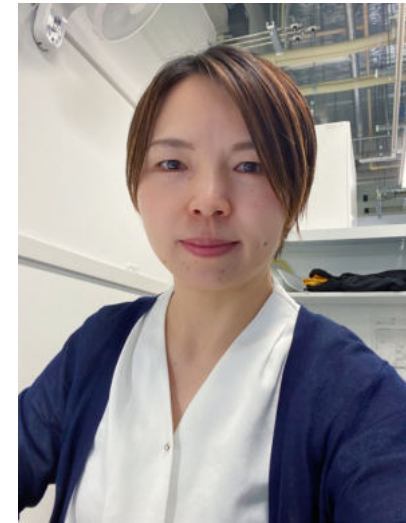
磁性材料を用いて次世代通信対応の電波吸収体の開発

アカ サイケン

阿加 賽見 (Saijian Ajia)

智能デバイス材料学専攻・特任助教
(出身：中国・吉林大学機械学科)

材料開発と特性評価から、高度情報社会を支える**磁性材料**×**高周波**×**スピントロニクス**に出会ってみよう!



IoTデバイスの増加や、高速かつ大容量な通信が可能となった5Gの普及により、電磁波干渉問題が懸念されている。磁性材料を用いて高性能の電波吸収体の開発に取り込んでいます。

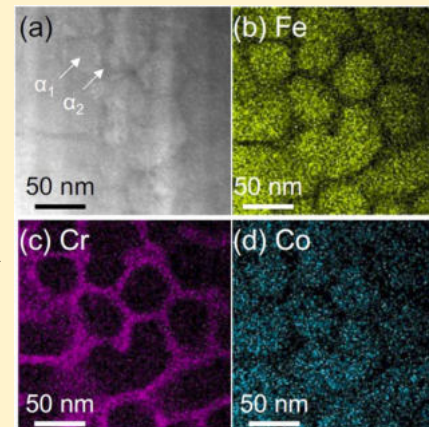


図1. Fe-Cr-Co系合金粉末におけるスピノーダル分解後の走査型電子顕微鏡(STEM)組織, (a)反射電子像, (b)-(d)元素マップ像. S. Ajia, et. al., JALCOM 903 (2022)163920.



図2. 電波吸収体の透磁率と誘電率を測定するベクトルネットワークアナライザ。